

# 目次

## 第一章 未来になぐ伝統の技

7

## 第二章 上州きもの再発見 織郷めぐり

25

女心くすぐる技と価値 「復活の試み 織都に活気」

.....

26

〔糸へん奇譚〕糸／32 『着物ことはじめ』先入観消え、着物道へ／33

技と智恵、センス凝縮 「色と模様重ね斬新さと深み」

.....

34

〔糸へん奇譚〕縞／40 『着物ことはじめ』中古や手作り品活用も／41

絵画的な美 緯糸で表現 「経糸3万本並べ紋様」

.....

42

〔糸へん奇譚〕緋／49 『着物ことはじめ』取材で着用、発見も／50

「粋」追求した縞模様 「需要低下で洋装に活路」

.....

51

〔糸へん奇譚〕綿／56 『着物ことはじめ』季節で素材使い分け／57

会心の「あか」探求 「途絶えた技 復元へ情熱」

.....

58

〔糸へん奇譚〕絞り／63 『着物ことはじめ』祖母の家に大島紬／64

東西の「技」融合 「色、模様幾重にも」

.....

65

〔糸へん奇譚〕綜／70 『着物ことはじめ』帯締めできたはずが...／71

木綿の着心地涼しく「繁栄極めた無限の模様」

.....  
72

「糸へん奇譚」**紡**／77 『着物ことはじめ』茶道で和装の風雅知る／78

模様にはかし味わい「織った経糸型紙で捺染」

.....  
79

「糸へん奇譚」**繻子**／84 『着物ことはじめ』「縁起物」など多彩な文様／85

機械化拒む手技伝承「捺染した糸括り模様」

.....  
86

「糸へん奇譚」**幻**／92 『着物ことはじめ』着物で銀ぶら、お得な体験／93

### 第三章 上州きもの再発見 織郷めぐり 〈工房編〉

江戸小紋・藍田正雄さん「型の魅力生地」

.....  
96

ちよつとひとこと——小物は洋装にも／99

絵画織・新井実さん「点構造糸で濃淡」

.....  
101

ちよつとひとこと——小物も幅広く／104

あけずば織・上原美智子さん「県産蘭沖縄で **命**」

.....  
106

ちよつとひとこと——本の糸で織った布／110

江戸友禅・永井與子さん「深み出す一筆一筆」

.....  
111

ちよつとひとこと——絹の質感大切に／115

草木染・山崎樹彦さん 「風土に根差した色を」  
ちよつとひとこと — 小物にも興味 / 120

和紙織・高橋康郎さん 「緻密な手仕事の連続」  
ちよつとひとこと — 和紙100%も / 124

天蚕・登坂昭夫、美祢さん 「翠思わす糸の輝き」  
ちよつとひとこと — 互いの技伝授 / 129

#### 第四章 織りの技 桐生織物

一、鉾人形の装束133年ぶり復元 織部の技、集大成

二、「お召し」復活に情熱

三、手に残る魅力再現へ

四、西陣と肩を並べる

五、機拵えに技と工夫

六、洋装に“和”生かす

七、意匠に産地の“重み”

八、デザイン力 次代に

.....	116
.....	121
.....	126
.....	131
.....	132
.....	136
.....	140
.....	144
.....	148
.....	152
.....	156
.....	160

九、奥深い染めの技追求

十、自動整経機で省力化

十一、新しい織り常に追求

第五章 織りの技 伊勢崎緋

一、伝統の作業貫く、着心地重視の着物作り

二、女優もPR「併用緋」

三、技生かし芸術「絵緋」

四、職人技リレーし「命」

五、品質追求し新「銘仙」

六、ゼンマイ綿毛、織物に

七、解し技法で振り袖に

八、〝括り〟の継承に情熱

各章の執筆について

.....  
164

.....  
168

.....  
172

177

.....  
178

.....  
182

.....  
186

.....  
190

.....  
194

.....  
198

.....  
202

.....  
206

.....  
210